



令和 6 年度
事業報告

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

公益財団法人岩手県国際交流協会

I LOVE IWATE

岩手県国際交流協会

「令和6年度事業報告」目次

< 概要 >	1
< 事業活動 >	
1 地域に根ざした国際理解・交流の推進	3
2 多文化共生の地域づくり	9
3 次代を担う人づくり	24
< 管理部門 >	
1 評議員会・理事会等の開催状況	27
2 業務執行体制等	28
(1) 職員の状況	28
(2) コンプライアンス体制及び職員研修	28
(3) JICA国際協力推進員の配置	28
3 寄附金及び賛助会員の状況	28
(1) 寄附金の受入れ	28
(2) 賛助会員の入退会	28

令和6年度事業報告

＜概 要＞

2024(令和6)年度は、令和元年度を初年度とする長期計画に基づき「地域に根ざした国際理解・交流の推進」、「多文化共生の地域づくり」及び「次代を担う人づくり」の3つの柱に沿って各種事業に取り組み、本県における国際交流・協力・多文化共生の推進に努めた。

本県の在留外国人数は、新型コロナウイルスの影響により減少したが、その後増加に転じ、令和6年12月末の在留外国人数は11,366人と過去最高を更新し、その国籍・地域別では、ベトナム、フィリピン、中国、インドネシア、韓国・朝鮮、ミャンマー、ネパールなど多様化が目立っている。

このように在留外国人が増加、多様化する中、各地域における国際化の推進や外国人受入体制の整備、外国人相談・情報提供等に取り組んだ。

「働く外国人支援プロジェクト、多文化共生地域づくりプロジェクト」では、引き続き「地域日本語教育推進事業」を実施し、外国籍を持つ県民や外国にルーツがある日本国籍を持つ県民（以下「外国人県民等」という。）が自立した生活を送るために必要な日本語能力を身につけられるよう学習機会を提供するなど、県内の日本語教育体制の構築を図るとともに、外国人県民等の幅広い相談に対応するため、外国人相談専門員を配置しいわて外国人県民相談・支援センターを運営した。

また、災害時における外国人支援の研修や外国人材受入拡大に係る関係機関連絡会議を開催するなど、外国人受入れの基盤となる体制の整備促進に努めた。

「グローバル人材育成プロジェクト」及び「外国人留学生等就職活動支援プロジェクト」では、大学生等の海外留学を支援するとともに、グローバルキャリアフェアの実施など外国人留学生等の高度人材の県内就職の支援などに取り組んだ。

なお、各プロジェクト推進に係る会議、研修、セミナー等の実施に当たっては、必要に応じてオンラインでの参加を可能とした。

3つの柱と4つのプロジェクトにおける主な事業実施の概要は、次のとおりである。

1 「地域に根ざした国際理解・交流の推進」

＜長期ビジョン関連プロジェクト＞

○多文化共生の地域づくり〈ダイバーシティ〉プロジェクト

市町村、市町村国際交流協会職員等を対象とした地域国際化人材育成研修を開催するとともに、市町村、市町村国際交流協会等との連携推進を図るため、地域国際化推進会議や国際交流関係団体連絡会議を開催した。

また、いわて国際化人材の登録・活用やホストファミリーの登録・活用等の取組を行うとともに、多言語のホームページや国際交流情報紙等により、イベント情報や生活情報、国際交流団体の活動情報等を発信した。

県の国際交流センターの管理運営では、展示コーナーを活用した様々な企画展示を行うなど、センター利用の拡大に努めた。

また、国際交流団体等の活動支援助成を行うとともに、国際交流関係団体等との共催事

業では、多文化共生セミナーと多文化共生出前授業を実施した。

2 多文化共生の地域づくり

〈長期ビジョン関連プロジェクト〉

○働く外国人支援プロジェクト

○多文化共生の地域づくり(ダイバーシティ)プロジェクト

外国人との交流会や「2024ワン・ワールド・フェスタinいわて」を開催し、外国人県民等と連携・協働により国際交流・国際協力、多文化共生について、広く県民に普及啓発を図った。

また、外国人の多様性についての認識を深め、外国人と共生するまちづくりを考える契機とするため、多文化共生地域づくりセミナーやワークショップを開催するとともに、グローバルな課題解決に向けての意識啓発等を図るための「身近な国際協力～フェアトレード」を実施した。

地域日本語教育推進事業では、外国人県民等が自立した生活を送るために必要な日本語能力を身に付けられるよう、日本語教室空白地域における教室開設促進やオンラインによる日本語学習講座の実施による学習機会の提供等を行った。

また、岩手大・国際教養大・山形大の3大学と国際交流協会等による「なか東北連携による地域日本語教育専門人材養成事業に関する連携協定」に基づき、地域日本語教育専門人材養成講座の実施を支援するとともに、地域の企業等からの有償の依頼に対応するため講座修了者を日本語サポーター制度の「教師枠」に登録する取組を行った。

「いわて外国人県民相談・支援センター」の運営では、中国語、ベトナム語、英語及び韓国語の専門相談員を配置し、在留資格などの行政手続や医療、福祉、家庭内の問題等幅広い相談に対応するとともに、岩手県行政書士会及び岩手弁護士会と連携し無料相談を行った。

また、電話通訳等による多言語相談サポート・支援や無料外国人医療相談会などの取組を行うとともに、新たな取組として医療通訳の研修会を実施した。

いわて災害時外国人支援体制の構築では、東北・北海道ブロック地域国際化協会と連携した災害時多言語支援窓口運営にかかる業務対応訓練を初めて実施するとともに、岩手県総合防災訓練での避難所受入訓練等への参加や災害時の外国人支援の研修等を行った。

また、在留外国人の増加や外国人技能実習制度の見直しなどを踏まえ、外国人が働きやすく、また安心して暮らしていける環境整備に向け、「外国人材受入拡大に係る関係機関連絡会議」の開催等を行った。

3 次代を担う人づくり

〈長期ビジョン関連プロジェクト〉

○グローバル人材育成プロジェクト

○外国人留学生等就職活動支援プロジェクト

「いわてグローバル人材育成推進協議会」では、海外研修及び県内企業でのインターンシップの経験を活かして、地域に貢献する「グローバル人材」の育成に努めることとしており、海外派遣では、7人の学生の海外留学を支援した。

また、外国人青年や外国人留学生等のグローバル人材の県内企業への就職を支援するキャリアフェア、インターンシップ、企業訪問等を実施し、県内への就職・定着の支援に努めた。

＜事業活動＞

1 地域に根ざした国際理解・交流の推進

注)各施策の番号は“いわてビジョン2019”の施策番号に対応。

①施策 1-1 地域国際化人材育成研修の実施（県補助）

地域の国際化、多文化共生を担う人材を育成するため、市町村及び市町村国際交流協会職員等を対象に、国際交流・多文化共生の現状と課題、外国人に関わる諸制度等、国際交流・多文化共生に係る基礎的知識について学ぶ研修会を開催した。

第1回

日時・会場	令和6年6月11日(火)13:30～15:00・ZOOM ミーティング
プログラム	在住外国人の状況と岩手県国際交流協会の取組及び技能実習から育成就労へ ～新たな外国人材受入れについて知らなければならないこと～
講師	岩手県行政書士会 副会長 行政書士 横山 勝 氏 岩手県国際交流協会 外国人相談・支援専門員 今野 香
参加者数	35名

第2回

日時・会場	令和6年 6月17日(月)13:30～15:00・アイーナ 研修室 810 6月18日(火)13:30～15:00・北上地区合同庁舎 大会議室 6月24日(月)13:30～15:00・大船渡地区合同庁舎 大会議室 6月25日(火)13:30～15:00・二戸市中央コミュニティセンター 交流室
プログラム	外国人からの相談に際して ～関係する制度や法律 事例を参考に～ 及び グループワーク 外国人労働者の定着について
講師 補助	岩手県行政書士会 副会長 行政書士 横山 勝 氏 岩手県国際交流協会 外国人相談・支援専門員 今野 香
参加者数	24名



第1回
オンライン(ZOOM)
横山行政書士による講話

②施策 1-2 地域国際化推進会議の開催

県との共催により、市町村及び市町村国際交流協会が地域における多文化共生・国際化推進の観点から、課題の共有や連携を強化し、取組の活性化を図るための会議を開催した。

(実施状況)

盛岡広域振興圏	日時	令和6年5月22日(水)13:30~15:00
	場所	アイーナ 会議室501
	参加者	7市町、5協会、1広域局 13人
県南広域振興圏	日時	令和6年5月23日(木)13:30~15:00
	場所	奥州地区合同庁舎 分庁舎 大会議室
	参加者	8市町、3協会、1広域局 25人
沿岸広域振興圏	日時	令和6年5月31日(金)13:30~15:00
	場所	釜石地区合同庁舎 大会議室
	参加者	9市町、5協会 24人
県北広域振興圏	日時	令和6年5月28日(火)13:30~15:00
	場所	久慈地区合同庁舎 大会議室
	参加者	6市町、4協会、1広域局 25人



盛岡広域圏 会議の様子

③施策2-1(施策15) いわて国際化人材の登録・活用

通訳・翻訳や文化紹介等多様な分野で対応できる方々(外国人県民等を含む)を登録し、通訳や国際理解講座などの講師紹介依頼があった際に紹介を行った。

- ・登録者 個人312人、団体3団体、依頼件数40件、活用件数36件、キャンセル0件
(前年度 個人284人、団体3団体、依頼件数66件、活用件数54件、キャンセル8件)

④施策2-2 ホストファミリーの登録・活用

新型コロナウイルスの影響で中止していた事業の再開によって、2件の依頼があった。

- ・登録者69家庭、活用2件(前年度登録84家庭)

⑤施策3-1(施策13、14、16、22) 多言語ホームページによる情報提供

ホームページ、フェイスブック、X(旧ツイッター)を通じて日本語、英語及び中国語で各種情報提供を行った。

- ・ホームページの来訪者数 232,869件(前年度256,736件)
- ・ホームページ情報提供件数 291件(前年度120件)
- ・SNS、メーリングリスト情報提供件数 197件(前年度106件)

⑥施策 3-2 多言語の国際交流情報紙の発行

日本語、英語及び中国語の国際交流情報紙を年4回発行した。

- ・発行部数 2,500部/回 合計10,000部



発行	特集
2024/6 (夏号)	令和6年度岩手県国際交流協会の取組
2024/9 (秋号)	岩手県国際交流協会 秋のイベントみどころ
2024/12 (冬号)	「2024ワン・ワールド・フェスタinいわて」を開催しました!
2025/3 (春号)	1. 多様化する日本、岩手。外国人とのよりよいコミュニケーションを目指して 2. R6年度岩手県国際交流協会主要事業実施状況

⑦施策 3-3 国際交流・協力・多文化共生に関する図書・情報の収集・提供

外国語も含めた蔵書やビデオ・DVDの教材等、国際交流関連の情報の収集・提供を行った。

- ・蔵書等のデータベース登録 6,779冊 (前年度6,801冊)
- ・資料収集国 190か国 (前年度190か国)
- ・国別ボックス 33箱/57か国 (前年度33箱/57か国)
- ・民族衣装 27か国/77セット (前年度27か国/77セット)

⑧施策 3-4 いわて国際交流・国際協力、多文化共生リソースバンクの運用

県内各地で国際交流・国際協力、多文化共生の効果的・効率的な取組を進めるための情報の共有や活用を図ることを目的として、リソースバンクを運用した。前年度の情報掲載以降の県内各市町村・市町村国際交流協会等の開催イベント、情報紙などの情報ファイルを追加掲載するとともに、外国人支援に役立つ情報を提供した。

- ・アクセス件数 16,813件 (前年度13,650件)
- ・掲載サイト <https://www.iwate-resource-bank.jp/>

⑨施策 4-1 国際交流センターの運営(県委託等)

岩手県から委託を受けて、国際交流センターにスタッフ5名を配置し、国際交流や多文化共生に係る情報提供、県民と外国人との交流を図る国際交流・国際協力活動等の拠点施設としてセンター利用者への対応等を行った。

- ・来館者数 142,448人 (前年度 125,796人)
- ・ホームページアクセス件数 232,869件 (前年度 256,736件)
- ・情報提供件数 1,233件 (前年度 1,032件)

⑩施策４－２ 国際交流センター内の企画展示

展示コーナーを活用し、年間を通じて時宜をとらえた各種企画展示を行った。

	期 間	テーマ
1	常設展示（春・夏）	アジアの魅力
2	常設展示（秋・冬）	世界の楽器
3	4/26(金)～6/27(木)	フェアトレード展
4	7/2(火)～8/15(木)	中国雲南省と岩手県の繋がり展
5	8/24（土）～10/20(日)	衣から考える世界（JICA東北と共催）
6	10/24(木)～11/15(金)	フェスタを通して知ろう！世界の文化
7	11/28(木)～2/24(月)	JICA海外協力隊活動紹介展
8	2/28(金)～4/30(水)	楽しい旅の美味しいおもいで

⑪施策５－１ 国際交流関係団体連絡会議の開催

国際交流関係団体の活動活発化に向けた意見交換、情報交換を行った。

- ・開催日 令和7年2月14日(金)
- ・会 場 アイーナ会議室804A及びオンライン
- ・内 容 令和7年度岩手県国際交流協会事業予定の説明、岩手県の取組の説明及び各団体の活動状況等に係る意見交換
- ・参加者 29団体36人（前年度41団体50人）



国際交流関係団体連絡会議登録団体数 115団体（前年度116団体）

分 野	団体数
国際理解	13
国際協力	8
日本語教室	5
青少年	13
学校・教育・文化・スポーツ	15
経済・観光	7
二カ国間交流	27
市町村・一般	27

⑫施策 5-2 国際交流関係団体等の活動支援助成

県内の国際交流団体等及び市町村国際交流協会が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活動や事業に要する経費の一部を助成した。

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
ア 国際交流団体等 ・助成数 4件、助成総額 242千円 (前年度 2件、助成総額 136千円)		
日本語ボランティア養成講座	日本語ボランティアぽんご	34,000円 (68,111円)
第32回外国人による日本語スピーチコンテスト	国際ゾンタ盛岡ゾンタクラブ	67,000円 (252,334円)
令和7年 春節を祝う会	岩手県日中友好協会	48,000円 (144,291円)
いわてビジネス英語アカデミー	(一社)いわてグローバル人材育成プロジェクト	93,000円 (564,926円)
イ 市町村国際交流協会 ・助成数 4件、助成総額 337千円 (前年度 5件、助成総額 433千円)		
一戸町国際交流協会設立25周年記念事業	一戸町国際交流協会	100,000円 (566,701円)
キッズワールドクラブ	(一財)遠野市教育文化振興財団	100,000円 (207,010円)
かねがさきDEハロウィン祭2024	金ケ崎町国際交流協会	100,000円 (163,131円)
日本文化体験「書道に挑戦！」	大船渡市国際交流協会	37,000円 (46,580円)
ウ 日本語教室 ・助成数 4件、助成総額 181千円 (前年度 8件、助成総額 498千円)		
日本語教室	金ケ崎町国際交流協会	48,000円 (60,000円)
日本語教室 文化交流	在岩手県ベトナム人協会	65,000円 (113,734円)
日本語教室「いっぽいっぽ」運営事業	日本語教室「いっぽいっぽ」	28,000円 (67,755円)
「にほんご交流カフェ」事業	大船渡市国際交流協会	40,000円 (53,388円)
【 計 】 ・助成数 12件、助成総額 760千円 (前年度 16件、助成総額 1,147千円)		

⑬施策6(施策29-2) 国際交流関係団体等との共催事業の実施

ア 多文化共生セミナー

県民が外国人の多様性についての認識を深め、外国人と共生する地域社会について考える契機とするため、多文化共生の推進について考える多文化共生セミナーを開催した。

- ・日時 令和6年12月8日(日)
14:00～15:30
- ・会場 アイーナ5階 会議室501
- ・共催 岩手県中国人会
- ・後援 富士大学
- ・テーマ 文化多様性と教育
～学校教育の課題～
- ・講師 東京福祉大学教育学部
教授 金 龍哲 氏
- ・受講者 46名



イ 多文化共生出前授業

岩手県盛岡広域振興局との共催で、様々な国の人々と触れあい、多様な文化の理解を深めるための講座を実施した。

- ・開催日 令和6年12月4日(水)
- ・会場 盛岡中央高等学校附属中学校
- ・協力者 外国出身者6人(中国、タイ、フィリピン、ベトナム、韓国)
- ・参加者 2年生36名

2 多文化共生の地域づくり

①施策 8-1 外国人との交流会の開催

県国際交流員や留学生等との協働企画により、定期的に外国人との交流会を開設し、参加者の拡大に努めた。また、協会のアウリーチとして県内市町との連携により国際交流イベントを開催し、広く県内へ国際交流の機会を提供した。

- ・開催回 9回、参加者 延べ528人
(前年度 7回、参加者 延べ437人)

《内訳》

外国人との交流会 開催回数 7回 参加者 延べ472人
 体験型文化紹介（地域開催） 開催回数 2回
 参加者 56人



	開催日	タイトル	参加人数
1	令和6年5月18日(土)	モンゴルの文化紹介	34人
2	令和6年6月30日(日)	～祝!日加修好95周年～カナダの文化紹介	34人
3	令和6年7月7日(日)	ボードゲーム交流会in矢巾町	30人
4	令和6年7月21日(日)	中国雲南省kids inいわて2024	47人
5	令和6年9月28日(土)	バングラデシュの文化紹介	18人
6	令和6年9月29日(土)	外国人といっしょに世界の動物を知ろう!in大船渡市	26人
7	令和6年10月14日(月)	親子フェスティバル同日開催 ワクワク、海の世界!	267人
8	令和6年12月21日(土)	教えて!あなたの国のクリスマス	37人
9	令和7年3月8日(土)	Tetってなに?ベトナムの旧正月について聞いてみよう!!	35人
合計			528人

②施策 8-2 「2024ワン・ワールド・フェスタinいわて」の開催

海外在住を含む外国人と連携・協働して国際交流・国際協力、多文化共生について、広く県民に啓発普及を図る「2024ワン・ワールド・フェスタinいわて」をアイーナ（盛岡市）で開催した。

- ・開催日 令和6年11月12日(日)
- ・会場 アイーナ4階県民プラザ、
5階国際交流センター他

- ・参加 延べ3,865人（前年度3,550人）

・プログラム

ファンゾーン(遊んで楽しめる体験ブース)

ステージゾーン(文化紹介ステージ)

カフェ(世界の菓子等の試食試飲など)

カルチャーゾーン(英語体験、キッズコーナーなど)

ミッションラリー(会場内クイズラリー)



③施策 9-1 多文化共生地域づくりセミナーの実施（県補助）

県民が外国人の多様性について認識を深め、外国人と共生するまちづくりについて考える契機とするためのセミナーを開催した。

- ・対象 日本語サポーター、地域日本語教室で活動している方及び一般県民等
- ・日時 令和7年3月1日(土) 13:30~15:00
- ・会場 アイーナ6階 団体活動室1
- ・テーマ 「日本語教育の新制度と多文化共生の地域づくり」

(同日開催 日本語サポーター交流会)

- ・講師 岩手大学副学長 国際教育センター教授 松岡 洋子 氏
- ・参加者数 31名



④施策 9-4 「身近な国際協力～フェアトレード～」の実施

身近な国際協力であるフェアトレードを通して持続可能な社会のあり方を考えるとともに、グローバルな課題解決に向けての意識啓発を図るためのイベントを実施した。

- ・内容 「“フェアトレード×岩手”で世界と繋がる」
 - ・第1部 講演「繋がりを力にかけて平和を紡ぐ」
講師 (有)ネパリ・バザーロ取締役 土屋 春代 氏
 - ・第2部 JICA海外青年協力隊員 現地報告
報告者 JICA海外青年協力隊員(ルワンダ) 鹿毛 謙作 氏
 - ・フェアトレード商品の販売、フェアトレードコーヒー・紅茶の試飲
- ・日時 令和6年10月20日(日)
- ・会場 アイーナ5階 国際交流センター内
- ・参加者数 31名



⑤施策10 多文化共生地域づくりワークショップの実施（県補助）

県民が外国人の多様性についての認識を深め、外国人と共生する地域社会について考える契機とするため、地域の国際化や多文化共生などを切り口としたワークショップを開催し、そこで得られたアイデア等をまちづくりや地域の活性化の一助とすることを目的として開催した。

ア 西和賀町開催

- ・日時 令和6年6月2日(日) 10:00～15:30
- ・会場 西和賀町 大野地区公民館
- ・協働 西和賀町
- ・内容 ピザ作り・モルック体験及び
交流ワークショップ・ディスカッション
- ・ファシリテーター及びディスカッション進行
西和賀町集落支援員 門馬由佳氏ほか4名
- ・WS参加者数 24名(ミャンマー、インドネシア、ネパール及び一般町民等)



イ 金ケ崎町開催

- ・日時 令和7年2月2日(日) 11:00～13:30
- ・会場 金ケ崎町 中央生涯教育センター
- ・協働 金ケ崎町国際交流協会
- ・内容 外国人県民等へのインタビュー&意見交換
- ・進行 金ケ崎町国際交流協会副会長 細目明子氏
- ・参加者数 31名(ベトナム、インドネシア、
ネパール、フィリピン、米国、アルジェリア、タイ及び一般町民等)



⑥施策11 地域日本語教育推進事業（県委託）

地域の一員として、外国人が自立した生活を送るために必要な日本語能力を身に付けられるよう、県内の日本語学習環境の整備を行うことを目的とし、岩手地域日本語教育コーディネーターを中心に、日本語教育の新たな担い手の掘り起こし、教育人材のスキルアップを目的とした研修、日本語教室空白地域における教室開設の促進、外国人県民へ学習機会の提供等を行った。

ア いわて地域日本語教育推進会議の運営

本県における日本語教育支援に関する取組を総合的かつ効果的に推進するため、外国人支援に関係する団体・機関から構成される会議を運営し、本県の日本語教育施策の検討や情報共有を行うため実施した。

(ア) 第1回

- 日時： 令和6年6月14日（金）14:30～16:00
- 場所： いわて県民情報交流センター（アイーナ）8階 会議室802
- 出席者数： 19人

(イ) 第2回

- 日時： 令和6年11月14日（木）10:30～12:00
- 場所： いわて県民情報交流センター（アイーナ）7階 会議室703
- 出席者数： 16人

イ 地域へのアウトリーチ支援等

岩手地域日本語教育コーディネーター等の有識者と連携し、地域（市町村、市町村国際交流協会）や日本語教室等へ巡回を行い、そこで得た課題やニーズにあわせて日本語教育に関する支援を行った。また、現在、地域において日本語学習支援者として活動している方が交流・情報交換できる場を提供した。

(7) 日本語教育に関する地域巡回・相談対応

巡回訪問・相談対応件数：36件

紫波町国際交流協会、大船渡市国際交流協会、宮古市国際交流協会、北上市国際交流協会、一関市国際交流協会、遠野市教育文化振興財団、日本語ボランティアグループ「ぼんご」（遠野市）、一関市国際交流協会日本語教室、紫波町国際交流協会日本語教室、日本語教室「さくら」（宮古市）、TVA日本語教室（盛岡市）、多文化共生I can 日本語教室（一関市）、陸前高田市日本語教室、北上市、宮古市、釜石市、釜石市国際外語大学校、学びのサポートセンターなないろ、株式会社いわらく、紫波町商工会、上野法律ビジネス専門学校日本語学科、盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校日本語学科

(4) 日本語教育人材向け研修

日本語学習支援のためのセミナー&交流会

日 時：令和7年3月1日（土）13：30～16：30

会 場：いわて県民情報交流センター（アイーナ）6階 団体活動室1

講師・ファシリテーター：岩手大学副学長兼国際教育センター長 松岡 洋子 氏

対 象：当協会の日本語サポーター、地域日本語教室で活動している方、地域日本語教育に関心のある方等

内 容：第1部 多文化共生セミナー「日本語教育の新制度と多文化共生の地域づくり

第2部 日本語サポーター交流会

参加者数：31人（第1部 31人、第2部 26人）



(7) 日本語教室開設サポート（紫波町国際交流協会への支援）

i 紫波町国際交流協会 日本語サポーター研修会（共催：紫波町国際交流協会）

日 時：（第1回）令和6年9月29日（日）14：00～15：30

（第2回）令和6年10月13日（日）14：00～15：30

（第3回）令和6年10月27日（日）14：00～15：30

（第4回）令和6年11月10日（日）14：00～15：30

会 場：（第1回・第2回）紫波町情報交流館

（第3回）（一社）紫波町観光交流協会

(第4回) 紫波町中央公民館

講師：藤波 大吾コーディネーター

対象：紫波町国際交流協会日本語教室サポーター

内容：(第1回) 日本語サポーターとしての心構え
(第2回) 外国人住民とのコミュニケーション
(第3回) 対話中心の活動について①
(第4回) 対話中心の活動について②

参加者数：実人数 13人 (9/27 8人、10/13 6人、10/27 6人、11/10 9人)



ii 紫波町国際交流協会日本語教室立上げ後の継続支援 (教室訪問)

対応日：令和6年11月24日(日)、12月8日(日)、令和7年1月26日(日)、2月9日(日)、2月23日(日)、3月9日(日)

場所：紫波町中央公民館、紫波町赤石公民館

(エ) 外部団体研修・セミナーとの連携

i 日本語ボランティアグループ「ぼんご」(遠野市)

日本語ボランティア養成講座 ※「ぼんご」自主事業

日本語ボランティアグループ「ぼんご」で活動したい方を対象としたボランティア養成講座の講師として、藤波大吾コーディネーターを紹介した。

対応日：令和6年7月12日(金)、7月19日(金)、7月23日(火)、
8月4日(日)

場所：遠野市民センター

ii 一関市国際交流協会

・日本語ボランティア養成講座 ※一関市国際交流協会自主事業

一関市国際交流協会の日本語教室で活動したい方を対象としたボランティア養成講座の講師として、嶺岸玲子コーディネーター、藤波大吾コーディネーターを紹介した。

対応日：令和6年8月24日(土)、8月31日(土)、9月7日(土)

場所：なのはなプラザ(一関市)

・日本語ボランティアフォローアップ研修 ※一関市国際交流協会自主事業

一関市国際交流協会の日本語教室で活動している方を対象としたフォローアップ研修の講師として、藤波大吾コーディネーターを紹介した。

対応日：令和6年9月28日(土)

場所：なのはなプラザ(一関市)

- iii 宮古市国際交流協会日本語教室「さくら」
交流サポーター研修 ※宮古市国際交流協会自主事業
宮古市国際交流協会の日本語教室「さくら」で活動している方を対象としたフォローアップ研修の講師として、藤波大吾コーディネーターを紹介した。
対 応 日：令和7年2月10日（月）、3月10日（月）
場 所：宮古市市民交流センター（イーストピアみやこ）
- iv 第2回外国人雇用セミナー
主 催 者：岩手県中小企業団体中央会
日 時：令和6年12月12日（木）13：30～15：40（うち15：10～15：40）
場 所：アートホテル盛岡
対 応 者：日本語教育支援専門員 森屋 静香
内 容：日本語教育支援に関する情報提供
参加者数：14人（うちオンライン参加9人）

ウ オンライン日本語学習講座【オンライン】

居住地域に日本語学習の環境がない外国人県民、より多くの学習機会を求める外国人県民へ学習機会を提供するため、オンラインでの学習講座を開催した。

方 法：オンライン形式（Zoom）

内 容：地域の日本語教室や日本語学習支援者との学習機会等での活動につながるまでの、生活に必要な最低限の会話のための基礎的な学習項目（「日本語教育の参照枠」A1レベル）の習得

(ア) 前期クラス

- i ひらがな・カタカナコース（全3回）
日 時：令和6年7月3日（水）7月10日（水）、7月17日（水）
19：00～20：30
受講者数：3人
- ii 入門コース（全13回）
日 時：令和6年7月24日（水）～10月23日（水）、毎週水曜日、
19：00～20：30（8/14を除く）
受講者数：15人（うち、修了者7人）

(イ) 後期クラス

- i ひらがな・カタカナコース（全3回）
日 時：令和6年11月4日（月）、11月11日（月）、11月18日（月）
19：00～20：30
受講者数：11人
- ii 入門コース（全13回）
日 時：令和6年11月25日（月）～令和7年3月3日（月）、毎週月曜日、
19：00～20：30（12/23、12/30を除く）
受講者数：24人（うち、修了者16人）
- iii 初級コース（全13回）
日 時：令和6年11月27日（水）～令和7年3月5日（水）、毎週水曜日、
19：00～20：30（12/25、1/1を除く）
受講者数：12人（うち、修了者11人）



⑦施策12(施策20) 日本語サポーターの登録・育成と活用

ア 日本語サポーターの登録と活用

日本語サポーターの登録と活用により、外国人県民等のニーズに対応した日本語学習を支援した。

- ・登録者 148人（前年度125人）、うち有資格者等登録者24人
- ・活用 ○個人依頼件数51件、成立49件
（前年度：依頼件数37件、成立37件）
○企業・団体依頼件数1件、成立1件

イ なか東北連携地域日本語教育人材育成

岩手大・国際教養大・山形大の3大学と国際交流協会等による「なか東北連携による地域日本語教育専門人材養成事業に関する連携協定」に基づき、「地域日本語教育専門人材養成講座」の実施を支援した。また、地域の企業や団体からの有償の日本語指導の依頼に対応できるよう、講座修了者を日本語サポーター制度の「日本語教師枠」に登録した。

- ・令和6年度講座修了生：4人（うち、日本語サポーター登録3人）

⑧施策15-2 多言語通訳者の育成

外国人県民等が安心して医療機関を受診できる環境づくりを図るため、英語による医療通訳の入門研修として、通訳者の心構えやノウハウを学ぶとともに、英語通訳のロールプレイを通じた実践体験を行い医療通訳への理解を深める機会とした。

- ・日時 令和6年12月15日(日) 10:30~12:30
- ・会場 アイーナ7階 会議室701
- ・講師 (特非)SEMI さっぼろ 北間砂織氏、富田まゆ子氏
星野ルーカス光紀氏、Scalett Bangley氏
- ・内容 医療通訳概要講義、ロールプレイ
- ・受講者 18名

⑧施策17 いわて外国人県民相談・支援センターの運営(県委託)

外国人県民等が安心して生活できるよう、在留資格などの行政手続、日本語学習・医療・福祉・子育て・家庭内の問題に関することなど、幅広い相談に対応するため、外国人相談窓口を設置し外国人相談専門員を配置するとともに、関係機関とのネットワーク形成を図る連絡会議等を開催した。

ア 相談窓口の設置

相談窓口において生活上の問題をはじめとした幅広い相談へ対応した。

- ・相談件数 609件（前年度 599件）（相談専門員による相談、地域巡回相談、外国人専門相談員における相談件数を含む。）

（相談内容の内訳）

年 度	日本語 学 習	住 居	教 育	医療・保 健・福祉	行 政 手 続	その他	合計
令和6年度	73	17	28	37	157	297	609
令和5年度	38	9	17	67	177	291	599
令和4年度	50	1	5	97	138	378	669

イ 相談専門員等の配置

- ・相談マネージャー(1人)
- ・外国人相談・支援専門員(1人)
- ・外国人相談専門員(中国語1人、韓国語1人、英語1人、ベトナム語1人)

ウ 関係機関との連携

(ア) 外国人材受入拡大に係る関係機関連絡会議の開催

i 第1回

- ・日時 令和6年7月31日(水) 13:00~16:00
- ・場所 いわて県民情報交流センター(アイーナ)6階 団体活動室2・3
- ・出席団体 13団体、24人

ii 第2回

- ・日時 令和6年11月25日(月) 9:30~11:10
- ・場所 いわて県民情報交流センター(アイーナ)5階 会議室501
- ・出席団体 13団体、20人

iii 第3回

- ・日時 令和7年2月5日(水) 13:30~15:30
- ・場所 いわて県民情報交流センター(アイーナ)6階 団体活動室2・3
- ・出席団体 10団体、19名

(イ) 仙台出入国在留管理局による相談会の開催

i 外国人材受入・支援に関する説明会

（岩手労働局、盛岡公共職業安定所、岩手県との共催）

- ・日時 令和6年7月3日(水)
- ・会場 いわて県民情報交流センター(アイーナ)5階 会議室501
- ・参加者 38名(外国人材の雇用等に関わる事業者、関係団体、自治体等)

ii 相談会

- ・日時 令和7年2月7日(金)
- ・会場 一関市大町なのはなプラザ 3階（一関市、市国際交流協会との共催）
- ・相談件数 3件（地域巡回）

(ウ) 会議等への参加

i 外国人雇用セミナー

- ・主催 岩手県中小企業団体中央会
- ・日時 令和6年11月8日(金) 13:30~16:10
- ・会場 アートホテル盛岡
- ・出席者 技能実習生に係る監理団体等
- ・参加者 宮相談支援マネージャー、森屋日本語教育支援専門員(地域巡回)
- ・内容 技能実習制度運用要領の改正点、運営上の留意点等
外国人受入れの現状と課題

ii 第2回外国人雇用セミナー

- ・主催 岩手県中小企業団体中央会
- ・日時 令和6年12月12日(木) 13:00~15:40
- ・会場 アートホテル盛岡
- ・出席者 技能実習生に係る監理団体、組合等
- ・参加者 宮相談支援マネージャー、今野相談支援専門員、森屋日本語教育支援専門員(地域巡回)
- ・内容 外国人材の定着支援と育成就労制度の今後の見通しについて
外国人材の支援の取組(協会説明)

(エ) 研修兼意見交換会の開催

- ・日時 令和7年3月7日(金) 13:00~14:30
- ・会場 ワーキングルーム / オンライン (Zoom)
- ・出席者 相談員等6名、市町村・市町村協会6団体

エ 電話通訳等による多言語相談サポート・支援

- ・受託業者 メディフォン(株)
- ・言語 32言語
- ・活用 18件/661分



⑨施策18 地域巡回相談

相談マネージャー及び外国人相談・支援専門員等が、外国人を雇用する企業や関係機関・団体、日本語教室、市町村国際交流協会等を訪問し、外国人労働者等の状況や支援の課題等について聞き取り及び情報提供等を行った。

- ・巡回件数 29件(前年度 37件)

⑩施策19 外国人定期相談日

岩手県行政書士会及び岩手弁護士会と連携し、無料相談日を開設した。

ア 岩手県行政書士会と連携した相談日

開設数 24回 相談件数 30件(前年度 24回 32件)

イ 岩手弁護士会と連携した相談日

開設数 5回 相談件数 8件(前年度 3回 4件)

⑪施策20 外国人児童生徒の教育支援

県教育委員会が策定した外国人児童生徒等教育基本方針を周知するとともに、県・市町村教育委員会等との連絡調整や外国人児童生徒の受入れに係る相談対応を行った。

⑫施策21 外国人患者受入体制構築事業（県補助）

外国人県民等が抱える健康面での不安や悩みの解決に向けて、医療機関等と連携を取りながら医療相談会を開催し、医療面での不安の解消に取り組んだ。

- ・名称 2024 外国人医療相談会
- ・協働 Espeyulo、岩手県民主医療機関連合会
- ・協賛 盛岡医療生活協同組合 川久保病院

ア 事前問診

(ア) 盛岡会場

- ・日時 令和6年10月19日(土)13:00～15:00
- ・会場 アイーナ5F 国際交流センター内
- ・事前問診参加者 22人(中国6人、タイ6人、バングラデシュ5人、モンゴル3人、マレーシア1人、ベトナム1人)

(イ) 一関会場

- ・日時 令和6年10月26日(土)13:00～15:00
- ・会場 なのはなプラザ 4F 会議室
- ・事前問診参加者 なし

イ 健康診断・医療相談会

- ・日時 令和6年11月9日(土) 11:00～15:30
- ・会場 川久保病院
- ・対応言語 中国語、ベトナム語、英語及び日本語
- ・内容 健康診断、医療相談
- ・受診者 19人／申込者数 27人
(中国6人、タイ5人、モンゴル3人、バングラデシュ4人、マレーシア1人)
- ・対応人員 34人(川久保病院29人、当協会5人)



⑬施策23 いわて災害時外国人支援体制の構築（県委託）

災害時における外国人に対応した支援体制を構築するため、災害時の外国人対応等についての研修会、実践訓練等を実施した。

ア 災害時多言語支援窓口の設置・運営

(ア) 災害時多言語支援窓口設置運営訓練

- 日時： 令和6年11月5日(火) 14:45～16:30
- 会場： アイーナ 事務室内、オンライン
- 内容： 東北・北海道ブロック地域国際化協会との連携による災害時多言語支援窓口運営にかかる業務対応訓練を実施した。当協会及び岩手県の窓口での対応のほか、Zoomを使ったオンラインでの通訳、共有ファイルを介した翻訳等、遠隔からの多言語支援にかかる訓練を実施した。
- 参加者： 66名(11道県地域国際化協会42名、県4名、当協会14名、協力者5名、オブザーバー1名)



〈東北・北海道の国際交流協会との連携での対応の様子〉 〈オンラインでの遠隔通訳の様子〉

(イ) 岩手県総合防災訓練での災害時多言語支援窓口連携訓練（モデル地区との連携）

日 時： 令和6年11月10日(日) 8:30～12:00

会 場： アイーナ 事務室内

内 容： 岩手県総合防災での遠野市福祉総合センター（避難所）の外国人にかかる相談・問合せに対する、災害時多言語窓口の対応を訓練した。

参 加 者： 3名（相談支援センター担当及び相談員等）

イ 県が実施する防災訓練への参加

(ア) 令和6年度岩手県総合防災訓練

日 時： 令和6年11月10日(日) 8:30～12:00

場 所： 遠野市総合福祉センター他

参 加 者： 7名（協会職員2名、協力者5名）

訓練内容： 避難所受入訓練

広域避難訓練

災害時多言語支援窓口連携訓練【再掲】

ウ 災害時外国人支援の充実に関すること

(ア) 一般向け研修

i 「外国人観光客を災害から守るには？」【モデル地域開催】

日 時： 令和6年1月23日(木)13:30～15:00

会 場： 八幡平市役所 大ホール

講 師： 岩手大学国際教育センター 教授 松岡 洋子氏

内 容： 外国人観光客等に対する防災のためのコミュニケーションのポイント等について事例を交えての講義を行った。

参 加 者： 11名

ii パネルディスカッション

「いざというときに試される異文化コミュニケーションの力」

日 時： 令和7年2月14日(金)13:00～14:20

会 場： いわて県民情報交流センター（アイーナ） 会議室801B

ファシリテーター： 岩手大学国際教育センター 教授 松岡 洋子氏

パネリスト： ウィリアム フェリス氏、西澤 シャールフ氏

内 容： 災害時等に向けたコミュニケーションの課題等についてパネルディスカッション形式で検討した。

参 加 者： 32名

(イ) 実務者向け研修

i 研修会 「災害時の外国人支援研修

～佐賀県の事例に学ぶ災害時の外国人支援体制づくり～」

日 時： 令和6年11月5日(火)13:00～14:30

実施方法： オンライン

参加対象： 災害時多言語サポーター登録者、市町村国際交流担当者、東北・北海道ブロック地域国際化協会職員等

講 師： 佐賀県国際交流協会 企画交流課長 矢富 明德氏

内 容： 災害時にすぐに体制を整え支援を進められるよう取り組む佐賀県災害時多言語支援センターの事例を紹介いただいた。

参加者： 76名 ※県外参加者を含む

ii 災害時外国人支援実践者研修 第1部 災害に関わる気象情報の基礎知識

日 時： 令和7年1月18日(土)13:30～14:20

場 所： アイーナ 研修室810

参加対象： 災害時多言語サポーター登録者、市町村国際交流担当者等

講 師： 盛岡地方気象台

内 容： 災害時の多言語情報発信に関わる気象情報の基礎知識の理解を深める講座を実施した。

参加者： 11名

エ 語学研修会の開催

(ア) 災害時多言語サポート英語講座

日 時： 令和6年10月6日(日) 13:30～16:00

場 所： 遠野市民センター 講義室

参加対象： 一般、観光業に携わる方等

参加者： 7名

内 容： 外国人観光客に向けた災害時英語対応講座

委託先： 合同会社ポリグット J P

(イ) 災害時外国人支援実践者研修 第2部 災害時の支援のための英語講座

日 時： 令和7年1月18日(土) 14:30～17:00

実施方法： アイーナ 研修室810

参加対象： 災害時多言語サポーター登録者等

参加者： 8名

内 容： 気象情報などの英語での情報発信の仕方や、災害時の対応方法についての英語講座

委託先： 合同会社ポリグット J P

オ 市町村等の取組への支援に関すること

(ア) オール岩手防災ネット「防災実践塾」での災害時の外国人支援に関する講義

公開期間： 令和6年9月10日～10月18日

実施方法： 動画配信（オンデマンド）

受講対象： 受講登録者 65人

内 容： 災害時の外国人支援の講義

(イ) 一関市 「やさしい日本語職員研修会」への講師派遣

日 時： 令和7年2月17日(月)13:30～15:30

会 場 等： 一関保健センター多目的ホール、オンライン

参 加 者： 38名(会場19名、オンライン19名)

講 師： 岩手大学国際教育センター 教授 松岡 洋子氏

カ サポーター等登録状況

	人数	備考
いわて災害時多言語サポーター登録者【旧制度】	24名	
災害時外国人サポーター登録者【新制度】	22名	
計	44名	(重複登録を除く)

⑭施策25 外国人労働者受入体制推進事業

外国人労働者の増加を踏まえ、外国人労働者や受入企業等が抱えるニーズや課題の解決に向けた取組を進めるため、市町村国際交流協会等と連携して地域住民に対する外国人労働者の受け入れ理解の促進を図る機会等を創出した。

ア 地域との交流機会の創出

市町村や市町村国際交流協会等との連携により、外国人労働者と地域住民との交流機会を創出し、相互理解を進めることで、外国人労働者が地域で活躍できる地域づくりを進めた。

(ア) 二戸市開催

- ・協働 二戸市国際交流協会
- ・日時 令和6年6月9日(日) 9:00～13:00
- ・会場 稲庭高原パークゴルフ場
- ・参加 実習生13人(インドネシア・ベトナム・ミャンマー)、日本語サポーター等13人
- ・内容 パークゴルフ体験を通じて交流を図った。



(イ) 九戸村開催

- ・協働 九戸村国際交流協会
- ・日時 令和6年7月6日(土) 17:30～21:30
- ・会場 九戸村 折爪岳
- ・参加 特定技能15人(中国)、実習生10人(ミャンマー)、九戸村国際交流協会会員等13人
- ・内容 ヒメホテル鑑賞会を通じて交流を図った。

(ウ) 釜石市開催

- ・協働 釜石日本語教室 桜会
- ・日時 令和6年10月6日(日) 10:00～11:30
- ・会場 青葉ビル研修室
- ・参加 特定技能1人(タイ)
実習生24人(ベトナム、インドネシア)
日本語ボランティア等5人
- ・内容 防災ワークショップを通じて災害時の対応や最寄りの避難所などについて学ぶ機会となった。



(エ) 矢巾町開催

- ・協働 矢巾町国際交流協会
- ・日時 令和6年11月4日(月・祝) 10:00~15:30
- ・会場 くるみアパートメント、高館農園など(矢巾町内)
- ・参加 実習生4人(ベトナム)、矢巾町国際交流協会会員等9人
- ・内容 染め物体験や農業体験などを通じて交流を図った。

(オ) 紫波町開催

- ・協働 紫波町国際交流協会
- ・日時 令和6年11月10日(日) 8:45~15:40
- ・会場 船久保洞窟、紫波フルーツパーク、野村胡堂記念館、紫波中央公民館
- ・参加 特定技能1人(ベトナム)、実習生3人(フィリピン)、日本語サポーター等16人
- ・内容 洞窟探索やピザ作り体験などを通じて交流を図った。

(カ) 大船渡市開催

- ・協働 大船渡市国際交流協会
- ・日時 令和6年11月24日(日) 10:00~12:30
- ・会場 シープラザ大船渡
- ・参加 実習生4人(ベトナム)、ALT2人(フィリピン)、CIR1人(米国)、宣教師4人(香港、台湾)、日本語サポーターなど15人
- ・内容 書道体験を通じて日本文化を学ぶとともに交流を図った。



(キ) 一関市開催

- ・協働 一関市国際交流協会
- ・日時 令和7年1月19日(日) 10:00~12:30
- ・会場 なのはなプラザ2F にぎわい創造センター
- ・参加 実習生等26人(インドネシア、フィリピン、ベトナムなど)、市国際交流協会ボランティア等37人
- ・内容 日本文化体験「日本のお正月を楽しもう!」と題して、書道体験・餅つき体験などを通じて日本文化の理解を図るとともに交流を図った。

(ク) 西和賀町開催

- ・協働 西和賀町集落支援員
- ・日時 令和7年2月16日(日) 10:00~16:30
- ・会場 西和賀町 泉沢公民館など
- ・参加 実習生等4人(インドネシア、米国) 町民9人
- ・内容 雪いた体験・たこ焼きづくりなどスポーツ等を通じて交流を図った。



⑮ 外国人材受入環境整備に向けた検討等

在留外国人の増加、外国人技能実習制度の見直しなどを踏まえ、外国人が働きやすく、また安心して暮らしていける環境整備に向けた業務等を行った。

ア 「外国人材受入拡大に係る関係機関連絡会議」

(7) 第1回

- ・日時 令和6年7月31日(水)13:00~16:00
- ・場所 いわて県民情報交流センター 6階 団体活動室2・3
- ・講演 「外国人材受入拡大に伴い多文化社会構築の覚悟―選ばれる「いわて」になる?―
(講師) 岩手大学副学長 国際教育センター教授 松岡 洋子 氏
- ・出席 13機関、24名

(イ) 第2回

- ・日時 令和6年11月25日(月)9:30~11:30
- ・場所 いわて県民情報交流センター 5階 会議室501
- ・出席 13団体・機関、22名

(ウ) 第3回

- ・日時 令和7年2月5日(水)13:30~15:30
- ・場所 いわて県民情報交流センター 6階 団体活動室2・3
- ・出席 10団体・機関、20名

イ 専門人材による外国人材受入体制充実のための県内事業者への日本語学習支援等

(7) 専門人材の設置

- ・期間 令和6年10月1日から令和7年3月31日

(イ) 専門人材による外国人材受入体制充実のための県内事業者への日本語学習支援等

- ・期間 令和6年10月~令和7年3月
- ・訪問数等 15か所

3 次代を担う人づくり

①施策29-2 職業体験の受入れの実施

県内学校等の依頼に応じ、高校生や大学生等を中心にセンター紹介やインタビュー対応を行った。

- ・受入実績 8校 1団体、43人（前年度 5校、49人）

依頼先	内容	受入期間	人数
岩手大学教育学部	調査訪問	令和6年7月16日	3人
北上翔南高校	センター紹介	令和6年8月6日	1人
盛岡医療福祉専門学校 心理福祉学科	センター紹介	令和6年9月9日	8人
あいち国際交流はなのき会	センター紹介	令和6年10月11日	19人
盛岡大学附属高校	センター紹介	令和6年10月23日	1人
岩手大学人文社会科学部	インタビュー対応	令和6年11月17日	1人
盛岡第一高校	インタビュー対応	令和6年12月4日	1人
不来方高校	センター紹介	令和6年12月16日	6人
花巻東高校	センター紹介	令和7年1月29日	3人

②施策30 「いわてグローバル人材育成推進協議会」事業の運営（県委託）

ア 「いわて協創グローバル人材育成プログラム」の実施

地域に貢献するグローバル人材を育成するため、県内大学生等の海外留学を支援した。

派遣学生数：7人（申請学生数：8人）

派遣国：フランス、オーストラリア、カナダ、アイスランド、ドイツ

イ グローバルキャリアフェア及び外国人を対象としたインターンシップの実施

外国人青年や留学生等のグローバル人材の県内企業への就職を支援するため、キャリアフェア及びインターンシップを実施した。

(ア) グローバルキャリアフェアin岩手

実施日：令和6年11月16日（土）

会場：岩手産業文化センターツガワ未来館アピオ

参加企業：71社

参加者数：5か国・地域12人（留学生8人、社会人等4人）

※（公財）ふるさといわて定住財団との共催で実施



(イ) 外国人のための県内就職セミナー

実施日：令和6年12月9日（月）

会場：いわて県民情報交流センター（アイーナ）

参加人数：24人（企業2人、外国人22人）※オンライン配信含む

ウ 外国人留学生等を対象としたインターンシップ事業の実施

受入協力企業 2社

応募者数 1人

実施実績 1件

エ 外国人や海外経験を有する日本人学生等と企業とのワークショップ等の開催

(ア) ワークショップ「外国人と企業の情報交換会」

実施日：令和6年12月9日（月）

会場：いわて県民情報交流センター（アイーナ）

参加者数：19人（企業5人、外国人6人、その他機関5人、日本人学生3人）

オ 外国留学生等を対象とした県内企業訪問

実施日：令和7年1月16日（木）

訪問先：みちのくコカ・コーラボトリング株式会社 花巻工場（花巻市）

参加者数：7か国・地域15人（留学生10人、社会人等5人）



③施策31-1 私費外国人留学生支援奨学金支給（県補助）

私費外国人留学生に月額2万円の奨学金を支給するとともに、「いわて留学生大使」に委嘱し、当協会の活動をはじめ、県内各地で行われた国際交流活動や県内就職に関するフォーラム等に積極的に参画した。

・受給者 9人、国際交流等活動実績 延べ 112件

〔内訳〕岩手大学大学院生4人、岩手大学学部生2人、富士大学学部生3人

（前年度 10人、国際交流等活動実績 延べ 137件）

④施策32 海外研修員等のサポート（県委託）

岩手県委託事業として、岩手県が受け入れる海外自治体職員研修員及び海外技術研修員の生活上のサポートを行った。

ア 海外自治体職員研修員

氏名	派遣元	期間	研修先
夏 冬	大連市	令和6年5月～令和7年3月 (5月帰国予定)	県庁商工労働観光部 産業経済交流課

イ 海外技術研修員

氏名	推薦団体	期間	研修先
多田 フェリッペ いさお	ブラジル岩手県人会	令和6年6月～11月	株式会社 栄組

ウ 遼寧省研修員

氏名	所属	期間	研修先
李 経緯	遼寧省人民政府 外事弁公室 アジア処	令和7年1月～3月	国際室、観光プロモーション室、観光経済交流課

(左：多田 フェリッペ いさお 氏) (右：夏 冬 氏)



<管理部門>

1 評議員会・理事会等の開催状況

理事会、評議員会、評議員選定委員会等の開催状況は、次のとおりである。

開催日	会議名	会議の概要
令和6年 4月17日(水)	令和6年度 第1回評議員選 定委員会	決議事項(書面表決) 1 評議員の選任について
5月24日(金)	第19回評議員会	決議事項(書面表決) 1 理事の選任について
6月4日(火)	第52回理事会	決議事項 1 令和5年度事業報告及び附属明細書の承認について 2 令和5年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計 算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認について 3 定時評議員会の招集について
6月19日(水)	第20回評議員会	決議事項 1 令和5年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減 計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認につい て
7月22日(月)	令和6年度 第2回評議員選 定委員会	決議事項(書面表決) 1 評議員の選任について
11月21日(木)	第53回理事会	決議事項 1 事務局規程の一部改正について 2 職員給与規程の一部改正について 3 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 4 国際交流・協力・多文化共生活動支援助成規程の一 部改正について 5 常務理事の報酬月額の設定について
11月21日(木)	理事・監事・評 議員等合同意見 交換会	意見交換事項 1 いわてビジョン2019に掲げる施策の実施状況(令和 6年度)について 2 いわて外国人県民相談・支援センターの運営状況に ついて
令和7年 3月17日(月)	第54回理事会	決議事項 1 令和7年度事業計画書及び収支予算書の作成につい て 2 県出資等法人に係る中期経営計画書(令和5年度～ 令和8年度)の時点修正について 3 臨時評議員会の招集について
3月28日(金)	第21回評議員会	決議事項(書面表決) 1 理事及び監事の選任について

2 業務執行体制等

(1) 職員の状況

令和6年度末の事務局職員数は、常勤職員11名、非常勤相談員4名（委嘱を含む。）、非常勤補助員6名（委嘱を含む。）である（事務局長事務取扱役員を除く）。

(2) コンプライアンス体制及び職員研修

理事長及び常務理事からの訓示のほかコンプライアンス違反行為等を発見した際の報告先を周知するなど、コンプライアンスを最優先し業務を遂行した。

また、令和7年3月に外部委員1名を加えた「コンプライアンス委員会」を開催し、当協会のサーバーアカウントへの不正アクセス事案について報告するとともに、令和6年度における問題事案の発生はなかった旨を確認した。なお、委員会の結果は理事事に報告している。

職員研修については、出入国在留管理庁や自治体国際化協会等の外部研修に参加した。

(3) JICA国際協力推進員の配置

当協会とJICA（独立行政法人国際協力機構）が連携して県民の国際協力活動を促進するため、JICA東北支部との協定により、令和6年度も協会内にJICAデスクを設置し、国際協力推進員を継続配置した。

3 寄附金及び賛助会員の状況

寄附金及び賛助会員の状況は、次のとおりである。

(1) 寄附金の受入れ

26件 1,948,000円の寄附金を受け入れた。

① 一般寄附金

2件 103,000円

② 協賛寄附金

24件 1,845,000円

(2) 賛助会員の入退会

賛助会員の新規入会を促進するため、令和6年4～6月及び10～11月に加入促進キャンペーンを行ったほか、年間を通じて、イベント開催時に賛助会員入会の呼びかけ等を行った。この結果、令和6年度の新規入会は10件となった。

なお、10月～11月のキャンペーンで学生の入会特典を設定するなど若年層の入会に取り組んだ結果、学生会員の入会は4件となった。

（令和6年度中入退会の状況）

	令和6年 3月末	入 会	退 会		令和7年 3月末	増 減
			退会届	職権退会		
個人会員	225	5	10	0	220	△5
学生会員	21	4	0	0	25	4
団体会員	49	1	2	0	48	△1
合 計	295	10	12	0	293	△2

令和6年度事業報告についての附属明細書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和7年6月

公益財団法人岩手県国際交流協会